

東京教区パワーシフト・キャンペーン ニュースレター No.4

必読！「被造物保護のための共同メッセージ」

「共同メッセージ」の 背後にある危機感

ニュースレター No.4をお届けします。キリスト教の指導者たちにより出された共同メッセージはとても重要なものです。このメッセージが出される背景には、被造物保護のために待たなしの強い危機感があることが分かります。

東京教区パワーシフト・キャンペーン（PSC）では、各教会・礼拝堂のパワーシフトを促すことと同時に、各家庭、各自ができることを具体的に模索していくことを促して参りました。福音に根ざして語られる共同メッセージを読み、あらためて教会として、一人のクリスチャンとして何ができるのか、問いたいと思います。

「今が正念場」

共同メッセージには「今が正念場」と迫っています。実はこの「今が正念場」という言葉は、いくつかの再生可能エネルギー普及を目指す電力会社さんやNGOの方々からも聞かれる言葉です。日々の時間はいつの間にか過ぎてしましますが、地球環境、被造物の破壊はこの瞬間にも進行しています。

東方エキュメニカル総主教バルトロメオ、ローマ教皇フランシスコ、カンタベリー大主教ジャスティン・ウェルビーによる「被造物保護のための共同メッセージ」が出されました！

2021年9月1日付けで出されたこのメッセージ。冒頭で現在の世界的なパンデミックに触れつつ、「あなたは命を選びなさい。そうすれば、あなたもあなたの子孫も生きる。」（申命記30:19b）を引用し「私たちは今までとは違う生き方を選択しなければなりません。」と呼びかけています。そして非常に入り組んだ現在の困な状況を、「サステナビリティ（持続可能であること）の重要性」「貧困に苦しむ人々への影響」「連携の必要性」という具体的なテーマに沿って解きほぐしながら提示しつつ、「被造物保護」が喫緊の課題であることを伝えています。このメッセージは以下のように締めくくられています。「神の被造物への配慮は、献身的な応答を必要とする霊的な使命です。今が正念場です。子どもたちの未来と、私たちの共通の家の未来は、この取り組みにかかっているのです。」

まさに、今が正念場です。今回のキャンペーンとも深く関係することです。わたしたち一人ひとりにとって「自分の」テーマとして、具体的な行動変革へと結びつけてまいりましょう。

◆共同メッセージ本文は、[管区事務所ホームページ](#)または、[右のQRコード](#)から御覧ください。



あっちもこっちも、パワーシフト!!!

各教会・礼拝堂で取り組みが始っています。聖アンデレ教会ではワーキンググループが立ち上げられ、本キャンペーン事務局メンバーがワーキンググループのミーティングに出席しました。また、阿佐ヶ谷聖ペテロ教会は独自でニュースレターを作成、そこにはお祈りも掲載されており、以下にご紹介します。その他、三光教会や大森聖アグネス教会などからご質問や電力会社の紹介依頼がありました。それぞれの教会・礼拝堂で着々とパワーシフト、進んでいるようです！

「阿佐ヶ谷聖ペテロ教会パワーシフトキャンペーンの祈り」

永遠の光であり、わたしたちの力の源である神よ、わたしたちが地球上の天然資源の消費について正しく理解できるように助けてください。

あなたの美しい創造物を大切にするために、この地球を賢く使う方法が分かるように、そして次の世代に相応しい遺産を残すために、私たちが自分たちの時代を超えて考えられるように助けてください。アーメン」

◆阿佐ヶ谷聖ペテロ教会のニュースレターは、各教会に合わせて書き換えることのご許可も頂いています。ご希望の方はキャンペーン事務局まで。

◆進んでいます！

教区事務所のPSC、電力会社選び

この度、教区事務所における新電力会社の候補を二社に絞りました。予定より少し遅れていますが、更に検討し11月には一社に決め契約する予定です。

これまで幾つかの新規電力会社を具体的に比較するなかで、複雑な国の電力制度の仕組みなど、少しずつ知識を得てきました。しかし、一つのことを解ると、また新たな疑問が生まれキリがありません。複雑な電力世界のことを消費者が十分に理解することは、実際のところなかなか大変だと感じます。自然破壊の進行を止め持続可能な社会に変えていくことに関心を寄せるだけでなく、今こそ、まず決断し、行動に移す必要があることも改めて思わされています。

■教区事務所の電力会社選びの前提は次のとおりです。

1. FoEのパワーシフトキャンペーン参加の基準を満たしていること。
2. 「再生可能エネルギー100%」の実現を目指す会社であり、電力構成比率はじめ情報をわかりやすく開示していること。
3. 既存の電力会社や、原子力、石油、ガス、石炭、化石燃料などを扱う会社の傘下でないこと。
4. 地域と良好な関係を保っていること。
5. 事務所での検討にあって、問い合わせや質問への応答が明瞭であること。

■候補会社二社、更に検討し決定します。

1. A社は新規電力企業の雄とも云える会社。B社は市民色のより強い会社。
2. 料金プラン（見積もり）は現在検討中です。両社とも現状よりも低料金となっていますが、二社の料金にはかなりの差があります。ただし、最終的には料金だけではなく、事務所が教会的な視点をもってどの会社を応援するか、ということも大切にしながら引き続き協議していきま

こんなのもあります！関心のある方は覗いてみてください！

1. 電力会社によっては、学びの場（zoom）を提供している会社もあります。
テーマ：「エネルギー関連法を知ろう」**グリーンピープルズパワー（GPP社）**
電気料金の内訳、電源三法交付金、エネルギー基本計画について学びます。
日 時：2021年9月28日（火）18：00～20：00
話す人：竹村さん（グリーンピープルズパワー代表取締役）
お申込：kouhou@greenpeople.co.jp 宛に
【件名：9月28日 GPPstudy】 【本文：お名前／ふりがな】をお送りください。
お問合せ：090-2169-9265 和食(わじき)
詳 細：HP：<https://www.greenpeople.co.jp/event/5662/>
Facebook：<https://www.facebook.com/events/338918891359132>
2. 「パワーシフトキャンペーンおよび参加会社」
電力会社紹介 <https://power-shift.org/choice/>
3. 電力の小売全面自由化って何？資源エネルギー庁 (meti.go.jp)
https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/electric/electricity_liberalization/what

